



マツヨイグサ

撮 影 日：令和3年8月21日

撮影場所：秋田市 民家敷地

目次

生産現場情報：冬季農業に挑戦～農事組合法人 白華の郷～	・・・ P 1～2
営農支援情報：水稻種子予措のポイント	
～令和4年産の稲づくりの作業がまもなくスタート～	・・・ P 3～4
ご 紹 介：①「令和3年度第2回Z-GIS・ザルビオWEB操作研修会」開催	・・・ P 5
②「全国高校生何でも、アリ。Creative Award 2021」	
～金賞受賞校へ秋田米を贈呈！～	・・・ P 6
③通販サイト「JAタウン」が今お買い得です	
～送料無料キャンペーン・年度末大決算セール～	・・・ P 7
お 知 ら せ：第33代秋田県産青果物キャンペーンガール「ミス・フレッシュ秋田」募集	・・・ P 8

冬季農業に挑戦～農事組合法人 白華の郷～

1. 法人設立の経緯

秋田市南部の豊岩前郷地区で水稻、大豆、エダマメ等の複合経営に取り組んでいるのが「農事組合法人 白華の郷（はっかのさと）」です。

県内でもいち早く大区画ほ場整備事業（平成6年～平成11年頃）に取り組んだ地区であり、平成19年4月からの国の経営安定対策（品目横断的経営安定対策）に対応するため、任意の集落営農組織として結成したのが始まりです。そして、6年目の平成25年に「農事組合法人 白華の郷」として再スタートし、現在に至っています。

法人の名称が素敵でしたので、代表の武藤真作さんに「白華の郷」の由来をお尋ねしました。その昔、室町時代に湊安東氏の支城として前郷地区の白華山の標高約60mに築かれたのが白華城で、初代城主は安東一族から選ばれた安東義仁（豊巻安東氏）です。江戸時代に入り湊安東氏は常陸の国（茨城県）に国替えとなりますが、豊巻安東氏は秋田に残り新しい領主となった佐竹氏の家臣となり、子孫は秋田で健在とのこと。白華城跡は貴重な遺跡として前郷地区の里人達から慕われ、大事にされていることもあり、「白華の郷」と名付けられました。

設 立：平成25年12月

代 表：代表理事 武 藤 真 作

構 成：19戸（令和3年現在）

所在地：秋田市豊岩豊巻字内縄尻62-3



代表理事 武 藤 真 作 さん

2. 経営の概要等

現在（令和3年）、約65haの農地で水稻36ha、大豆19ha、エダマメ10ha、ソバ1.5ha、イチゴ0.1ha（ハウス3棟）などを栽培しています。

水稻作の品種内訳は、あきたこまち21ha、めんこいな9ha、秋田酒こまち6haとなっており、うち直播（ペンモリ法）が2ha、残り34haは移植の密苗（200～250g播き）で、農薬使用成分数を慣行の5割以下に抑えた「あきたecoらいす」仕様で栽培しています。

エダマメは、朝獲りを基本に7月から9月まで収穫できるような品種を選択し、JA等への出荷のほか、事務所での直接販売も実施しています。

ソバは極早生エダマメの跡地を利用して栽培しています。



イチゴハウス内部の様子

（農）白華の郷では冬場の収入を確保しようと一昨年からイチゴ栽培を開始し、今シーズンで出荷2シーズン目を迎えました。100坪ハウス3棟で「とちおとめ」、「章姫（あきひめ）」、「紅ほっぺ」、「おいCベリー」、「やよいひめ」の5品種を栽培しています。およそ2日に1回程度のペースで収穫し、1日約150パック（270g）をJA秋田なまはげ直売所「いぶきの里」や「あぐりんなかいち」のほか、「白華の郷」の事務所で庭先販売しています。出荷は12月から5月頃まで続きます。取材日（1月31日）に収穫は休みでしたが、若手の新入社員が1人で黙々と管理作業をしていました。

代表の武藤さんは、「収穫開始2シーズン目ということもあり、まだまだ課題が多く、さらに今年はハウス用暖房の燃料高で燃料費が嵩み厳しいシーズンとなりそうだが、美味しいイチゴを消費者に味わってもらいたい。労働力の兼合いをみながらイチゴの栽培規模の拡大を考えていきたい。」と話していました。



イチゴハウス（100坪×3棟）

営農支援部 営農支援課 ☎018-864-2461



水稻種子予措のポイント

～令和4年産の稲づくりの作業がまもなくスタート～

今年の冬も積雪が多く、「秋田県農作物異常気象対策本部」から「大雪による農業施設等の被害防止対策等について」が出されました。当対策では、①ほ場に融雪剤を散布し、営農が計画どおり行われるよう、融雪の促進を図ることが必要です。②今後育苗を開始する場合は、ほ場の消雪予想日から推定される田植え日を考慮して、は種期を決定するなどの対応が必要ですので、育苗ハウスやほ場等の状況を見ながら春作業を進めてください。

また、令和3年産種子は、6月下旬～8月上旬の高温・多照により、出穂期が早まったことで、高温の中で登熟が進みました。このことにより、種もみは休眠が強くなっていますので、浸種は長めに行い、水温に十分に注意してください。また、催芽には時間がかかる可能性があります。種子予措を行うこの時期の気温はまだ低く、このような低温下では種子消毒剤の効果不足や、休眠が深まり出芽が遅れることがありますので、以下の内容を参考に作業を行ってください。

種子予措は、健全で充実した種子を選別することから始まります。

◆塩水選◆

塩水選（比重選）で軽い種子を除くことにより発芽が揃い、その後の生育も優れます。

塩水選は、食塩または硫酸で正確な比重液（うるち米は1.13、もち米は1.08）で行ってください。ただし、種子消毒剤吹き付け・塗抹済み種子は消毒剤が溶出するので塩水選は行わないでください。

◆種子消毒◆

種子消毒は種子伝染性の苗立枯細菌病、もみ枯細菌病、褐条病、ばか苗病、いもち病などを対象に行います。

また、無消毒種子を購入した場合は、種子伝染性の発生等を防ぐため、必ず「テクリードCフロアブル」等の薬剤で種子消毒を行ってください。温湯消毒を行う場合は、専用の処理装置を用いてください。温湯消毒は生物農薬「タフブロック」等と組合せると、防除効果が向上します。

特に種子伝染性病害（ばか苗病等）を防ぐため、自家採種は行わず、採種ほ産種子を使用してください。

◆浸種◆

種子の発芽を揃えるために、発芽に必要な水分を吸収させるとともに種子に含まれる発芽阻害物質を溶出させ取り除く作業です。

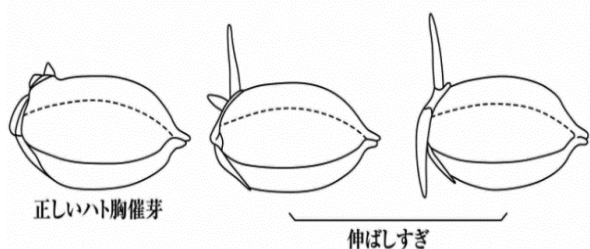
浸種の適水温は10～15℃で、10℃以下の低温で浸種すると、休眠が逆に深まる場合があります。一方で、14℃で8日間以上浸種すると浸種期間中に発芽が開始することがあるので注意してください。また、種子消毒剤の効果を高めるためにも、**浸種温度は10℃以下にならないように**気をつけてください。

浸種に使う容器は、種子量に対し大きめのものを使用してください。**種子1kgに対し水3.5リットルが目安**で、底の浅い平底型の容器の方が温度ムラは少なくなります。発芽に必要な吸水量は、乾籾重の25%前後であり、**浸種期間は水温10℃で6～8日、14℃では6日間程度**とします。種子消毒剤の効果を高めるため、**浸種期間中の水交換は2～3回**とします。**籾殻を透かして胚が白く**見えるようになったら浸種を終わらせる目安です。

◆催芽◆

催芽は、発芽の種子間差を小さくし、**均一に発芽させるために30～32℃**で行ってください。あらかじめ**36～40℃の温度で湯通し**を行い、**種子袋の内部まで温度が均一**になるようにしてください。

催芽中は、水分を切らさないようにし、**芽の長さはハト胸程度**とします。発芽速度は品種によって異なり、同一品種の種子であっても年により休眠性に差があるため発芽速度が異なります。また、催芽作業の時期によっても異なりますので、発芽程度（芽の長さと芽切れの揃い）を十分観察して催芽を終了してください。



もみ枯細菌病に注意！

近年「もみ枯細菌病」が散見されています。出芽温度は32℃を超えないようにし、被覆期間を過剰に長くしないようにし、出芽後の再被覆は行わないでください。また、緑化期以降は25℃以上にならないように注意してください。



ご紹介

「令和3年度 第2回Z-GIS・ザルビオWEB操作研修会」開催

2月10日、J A全農耕種総合対策部主催の「令和3年度第2回Z-GIS・ザルビオWEB操作研修会」が開催され、参加者はリモートで参加しました。

この研修会は、「Z-GIS」・「ザルビオフィールドマネージャー」の普及拡大や活用促進を目的としたシステム操作方法に関するWEB研修会で、秋田県からは秋田県本部の担当者4名とJ Aこまちの担当者5名が各会場で受講しました。



秋田県本部会場で受講した職員は「営農管理支援のツールである『Z-GIS』と『ザルビオフィールドマネージャー』の基本的な操作を身に付けることができた。資料や動画を参考に研修内容を復習しながら農閑期における担い手や農業法人への導入提案を積極的に行っていきたい」と話していました。

* 「Z-GIS」とは

J A全農が開発した、地図上のほ場に合わせて作成したポリゴン（ほ場）とExcelで管理したほ場の情報を紐づけて管理するクラウド型の営農管理システム。

* ザルビオフィールドマネージャーとは

J A全農は「Z-GIS」に続いて「ザルビオフィールドマネージャー」の日本国内へのサービス提供を2021年4月1日から開始。各ほ場の土壌や作物の品種特性、気象情報、人工衛星からの画像等をAIが解析して、作物の生育や病害・雑草の発生を予測、最適な防除時期や収穫時期等を提案する栽培管理支援システム。



「全国高校生何でも、アリ。Creative Award 2021」

～金賞受賞校へ秋田米を贈呈！

ＪＡ全農あきたは、秋田公立美術大学が全国の高校生を対象に実施した「全国高校生何でも、アリ。Creative Award 2021」へ協賛し、「高校生のごはん応援隊」として審査員をつとめたほか、金賞を受賞した『沖縄県立北谷高等学校科学技術総合研究開発部』へ副賞として秋田米 60kg を贈呈しました。



「全国高校生何でも、アリ。Creative Award 2021」は、高校生の皆さんの夢中になっている日々の活動や既存のジャンルに当てはまらない活動、公募をきっかけに取り組んだ活動等を募集し、そのおもしろさを評価。全国各地の高校生の皆さんからの応募 169 件の中から厳正な審査を行い、金賞 1 件・銀賞 5 件・銅賞 10 件が決定しました。

応募された活動（3分以内の動画）は、公式WEBサイト（全国高校生 何でも、アリ。Creative Award 2021 (u18cc.jp)）にて公開されています。

ＪＡ全農あきたは、これからも地域貢献活動に取り組むとともに、将来を担う高校生を秋田県産農畜産物で応援します！

通販サイト「JAタウン」が今買い得です

～送料無料キャンペーン・年度末大決算セール～



◆送料無料キャンペーン◆

JAタウンでは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、在庫の滞留や売上げの減少などが顕著な食材の販売促進を支援するため、対象品目の送料を補助する事業※に参加しています。

※令和3年度 国産農林水産物等販路新規開拓緊急対策事業インターネット販売事業者と連携した取組み

◆年度末大決算セール◆

JAタウン内で取り扱う商品のうち2,700点以上について、2割引きの価格で販売するセールの3月31日まで開催中です。JAタウンの特設ページに表示されるクーポンコードを入力すると、割引が適用されます。

※クーポンを利用するには会員登録が必要です



おらほの逸品館



JA全農あきた運営ショップ「おらほの逸品館」で「秋田県産あきたこまち5kg（ただいま300g増量中）」が通常価格3,050円のところ**送料無料キャンペーン中は2,170円**で販売。さらに**大決算セールの20%引きクーポン**を使用すると**1,736円**で購入できます。全国どこに送っても送料無料なので、遠くで暮らすご家族、ご友人におすすめです。

おらほの逸品館



おいしい日本と暮らそう

JAタウン





秋田の青果物 愛菜果

第33代 秋田県産青果物 キャンペーンガール募集

ミス・フレッシュ 秋田

フレッシュなあなたの笑顔を
秋田のため、そして全国に!!

募集要項および審査要項

【応募資格】 ① 満18歳以上の未婚の女性(高校生を除く)
 ② 秋田県内在住者(本籍、職業は問いません)
 ③ 県内外でのキャンペーン、イベントに従事できる方
※ミス〇〇、キャンペーンガール、イベントコンパニオン、等の任期が重複する方は応募できません。
 ④ 2次審査、委嘱状交付式へ出席可能な方

【応募方法】 市販の履歴書用紙に必要事項と「身長」を記入の上、3ヵ月以内に撮影した鮮明なカラー写真2枚(全身、上半身各1枚、12cm×8cm程度のもの)を添付し、郵送または持参して下さい。
 JA全農あきたのホームページの専用フォームからも応募可能です。
<https://form.ja-group.or.jp/ja0243/apply> ➡ 

【任 期】 令和4年6月1日～1年間
【応募期間】 令和4年2月21日(月)～4月20日(水) 必着
【募集人員】 2名
【応募先】 〒010-8558 秋田市八橋南二丁目10番16号 秋田県JAビル
 JA全農あきた園芸畜産部園芸課内
 「キャンペーンガール募集係」宛 TEL.018-864-2495

【審査方法】 ① 1次審査:書類審査
 ② 2次審査:面接審査
 日 時:令和4年5月13日(金)午前10時30分～(予定)
 場 所:秋田県JAビル
※結果は書面で通知のほか、1次および2次審査の通過者には電話連絡を行います。

【交 付 式】 日 時:令和4年5月30日(月)11:00～
 場 所:秋田市内(予定)

【賞 品】 ① 正 賞:記念楯
 ② 副 賞:15万円商品券
 県内産くだもの(年2回)

【キャンペーンガールの任務】
 秋田県産青果物の販売促進を図るため、県内・首都圏・関西等での県産青果物の宣伝即売等に関する行事やキャンペーンに従事する。(日当として、8,000円支給します。)

(1) 1次審査の合格者においては、履歴書に添付してお求め先等の確度を記載いたします。
 (2) 応募者からご提供いただいた個人情報(年齢は選挙や選挙結果の連絡等)は、フレッシュ秋田県産青果物キャンペーンガール事務局の運営業務上、必要な限りにおいて利用し、個人情報保護法に則って適切に管理します。

入選者には!
15万円商品券
プレゼント!



応募フォーム

↓↓↓



澄んだ空気と緑の大地が父と母です。 **あきた園芸戦略対策協議会 TEL.018-864-2495**

Za・あぐりふおーむ

Zennoh-akita agriculture+reform

JA全農あきた営農情報誌 Za・あぐりふおーむ
 第25号 令和4年3月7日発行

編集・発行 JA全農あきた営農支援部営農支援課 〒010-8558秋田市八橋南2丁目10番16号 018-864-2462